

クイックガイド

(Invenia ABUS スキャンステーション編)

- はじめに
- 基本構成
- スキャンステーションの起動
- 検査の準備
- タブについて
- 患者情報の登録とプロトコルの選択
- 患者情報の登録 - ワークリストの場合
- 検査の注意
- 被験者の体位について
- ローション・超音波ゲルの塗布
- 関節型アーム・スキャナーアッセンブリーの調整
- スキャンビュー
- 深度の選択
- 圧迫方法
- 画像の収集
- スタートストップスキャン
- ロック/アンロックの切替
- 画像収集後の操作
- Verify
- 検査の転送確認と再送方法
- 終了操作
- 定期メンテナンス



被検者の体位について

1. 被験者に検査ベッドに仰臥位になってもらいます。
2. 腰を捻らない様に真っ直ぐに側臥位になります。
(腰を捻ると乳房が左右均等になり難い原因になります)

Tips : 真っ直ぐ側臥位になる方法

左右の調整 : 右側乳房画像収集の場合

- 1) 患者さんの右手を左肩にあて
- 2) 右足を曲げて下さい。
- 3) このまま 左側臥位になります。
この時 腰を捻らない様にご注意ください。
- 4) 患者さんの右側背側に枕(スポンジ)を入れます。
- 5) 右手を頭上に上げてもらいます。

★左乳房画像収集の場合、同様の手順で
左右を逆に行って下さい。

3. 体位の確認方法 : 左右の調整

患者の尾側から乳房を観察し、

- ①左右に乳房が均等になっていること
- ②ニップルが上を向くように

側臥位の角度を調整して下さい。

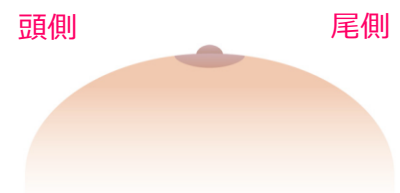
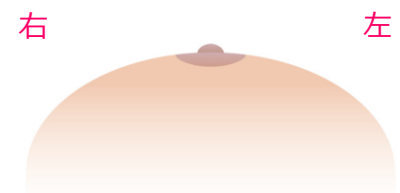
4. 体位の確認方法 : 頭側尾側の調整

患者の側方(右乳房の場合 右)から観察し

- ①頭側-尾側に乳房が胸壁に均等になっていること
 - ②ニップルが真上に向いていること
- を確認して下さい。

体位を合わせるためにベッドの頭側・尾側の高さを調整して下さい。

もし 高さ調整が出来ないベッドの場合は 枕・丸めたタオルをご使用下さい。



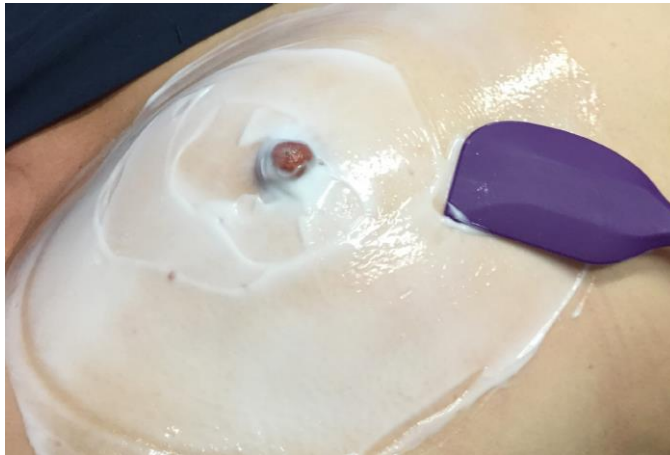
★スキャンビューごとに体位は変えず、其々の乳房は同じ体位でデータの収集を行います。

★必要に応じて、手の位置・顔の向きはスキャンビューごとに変更して下さい。

★乳房の内側-外側、頭側-尾側を均等になる様 体位調整することで AP画像収集時ニップル近くが 最も深度が深い部分になります。

ローション・超音波ゲルの塗布

- 乳房全体にローション または 超音波ゲルを塗布して下さい。
- 薄く塗るためにスパチュラを使用することを推奨します。
- 特にニップルの周囲は空気が混入しやすいので、ローション または 超音波ゲルを追加して下さい。
ニップル周囲を多方向から塗布したり、軽く抑えると効果的です。



関節型アーム・スキャナーアッセンブリーの調整

- スキャンステーションの関節型アームは スキャンビュー毎に、
検者の立ち位置と逆方向に屈曲させて下さい。
検者の頭にあたることを回避することができます。
- タッチスクリーンのスキャンラベルに表示している
グラフィックはスキャナーアッセンブリーのハンドルの
向きを示しています。
- 画面上のGEマークとラベル上のグラフィックは
同じ向きを示し、検者の立ち位置と一致します。

関節型アーム



GEマーク

